

営業店を「次世代型コンサルティング店舗」へ 全営業店で「スマート化」を進めます

京都銀行（頭取 安井 幹也）では、本年度から進める中期経営計画において、少数精鋭体制でお客さまに質の高いサービスを提供する次世代型コンサルティング店舗の拡大を目指し、20万時間の事務を削減する“営業店の事務体制の変革”を掲げています。

この一環として、今般、次世代営業店システムを活用した「営業店スマート化」を全店で進めてまいりますのでお知らせいたします。

営業店スマート化では、従来銀行事務で利用してきた専用端末をタブレット等に置き換え、伝票レス・ペーパーレス・印鑑レス・オペレーションレス・現金ハンドリングレスを実現します。これにより、お客さまの利便性向上、当行の事務効率化と人的リソースの再配分による営業力の強化につなげてまいります。

当行では、今後もデジタル技術を活用し、お客さまへの付加価値の高いサービス提供と経営資源の有効活用を進めてまいります。

記

1. 営業店スマート化の概要

次世代営業店システムでは、専用端末のタブレットやパソコンへの置き換えを進め、伝票レス・ペーパーレス・印鑑レス・オペレーションレス・現金ハンドリングレスによる事務手続きを実現します。

お客さまには、行員がご案内するタブレット画面の案内に沿って操作いただくことで、伝票記入にかかる負担軽減につながります。事務手順をタブレットに移行することで、ペーパーレス化による事務効率化を実現し、それに伴う人的リソースの再配分により営業力の強化を図ります。

なお、本システムは、当行を含む地銀共同センター参加行^{*1}と株式会社 NTTデータが共同開発したものです。



2. 次世代営業店システムの導入店舗（2026年4月13日時点）

試行店舗として導入済	吉祥院支店
	西七条支店
	四条支店
4月13日より導入	太秦安井支店
	金閣寺支店

※2026年9月をめどに、順次、全店に展開予定

※1 地銀共同センター参加行（銀行コード順）

青森みちのく銀行、秋田銀行、岩手銀行、千葉興業銀行、福井銀行、京都銀行、池田泉州銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、四国銀行、大分銀行、西日本シティ銀行、あいち銀行

※2 タブレットでのお手続きが可能な業務

入金、出金、振込、税公金のお支払い、両替、普通預金口座開設・解約、定期預金（口座開設・預入れ・支払い・解約）、積立式定期預金（口座開設・預入れ・支払い・解約）

カード発行（京都カードネオや京銀JCBデビットの申込を含む）、住所変更、投資信託、生命保険、金融商品仲介

今後、名義変更、改印、喪失受付、再発行、発見、個人番号の届出等も順次追加予定です。

（注）下線は次世代営業店システム導入時に可能となる業務

以 上